

議会報告会を経て合意形成を図った意見・要望

《学生との意見交換分》

○専門性・技術力を生かしたまちづくり

市内の高等学校や高専、大学が持つ知識・経験・能力を生かす観点から、市・地域・学校・企業とが連携・交流し、市民の健康づくりやまちのにぎわいづくりを進められたい。

【回答】（企画総務部、市民協働部、産業経済部、保健福祉部）

本市では、高等教育機関等が持つ教育資源の有効活用や人材・情報の交流を推進するとともに、市民がより高度な知識や情報を得ることができることなどを目指し、高等教育機関等と様々な連携事業に取り組んでおります。

まず、産学官連携の推進については、地域活性化センターのアドバイザーにより、国県等補助事業の活用支援などを通じ、高等教育機関等とのマッチングに取り組んでいます。あわせて、イノベーションの創出においても、有明工業高等専門学校との連携を進めており、産学連携コーディネーターの派遣やIT人材育成研修などにご協力をいただくとともに、イノベーション創出拠点「aurea（アウレア）」の進出企業と人材育成等に取り組む「まちなかシリコンバレープロジェクト」を推進することとしています。

次に、学生・生徒の皆様のまちづくりへの参加促進につきましては、これまで帝京大学福岡キャンパスや有明工業高等専門学校、市内の高等学校をはじめ、市外の高等教育機関等に対しても、積極的な参加を呼びかけてきたところです。

近年、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等の開催が見送られる中ではございますが、主な取り組みとしては、帝京大学福岡キャンパスと連携して、コロナ禍におけるフレイル予防や介護予防を目的とした「よかば〜い体操」の動画作成への協力や指導者養成講座の講師の派遣、有明工業高

等専門学校と連携して、小中学生を対象に「高専ハカセ塾」や「エレクトロニクス・ものづくり体験教室」の開催など、多岐にわたる事業に参加いただいております。

加えて、高校生が事業等を自ら企画・実施・運営することで、まちに貢献する気持ちや郷土愛を育むことを目的に「高校生まちづくり体験事業」を実施しております。具体的には、高校生が主体となり地域の魅力を発見する小・中学生を対象としたウォークイベントの開催や、総合発表会「青春祭」を企画・運営し、部活動の発表などの機会を提供する取り組みを行っているところです。

この他にも、三池光竹や港まつりといった地域の行事におきましても、多くの学生・生徒の皆様がボランティアとして参加されています。

引き続き、高等教育機関等との意見交換並びにニーズの把握を行うとともに、地域企業と高等教育機関等とのマッチングの支援や、高校生が主体となり設定する「高校生が習得した技術などを広く発表できる場」づくりの支援、また、市外の学生等が本市をフィールドに調査・研究を行う際の旅費等を支援する「高等教育機関等連携推進費」の活用等により、学生・生徒の皆様がまちづくりに参加しやすい環境づくりを進めてまいります。

更に、まちなかの活性化に向けたワークショップ「大牟田わかもの会議」を開催しており、学生や若者に積極的にまちづくりに参加してもらう仕組みづくりを進めています。

今後とも産学官連携の推進や学生等のまちづくりへの参加促進にしっかり取り組んでまいります。